

進路たより



就職する人も、進学する人も、 家庭学習期間を有意義な時間にしよう

高校生活もいよいよ大詰めですが、4月から**よりよいスタート**を切れるかどうかは、残りの日々の過ごし方にかかっています。

就職する人へ。社会人としてのマナーや教養は身に付いていますか？いま一度、見つめ直しましょう。世の中の出来事に関心を持ち、本、新聞、ニュースなどから、常に情報を得る習慣を身に付けましょう。健康管理も重要です。家庭学習期間も生活リズムを崩さず、体調管理に気をつけましょう。

進学する人へ。4月からは他校出身の、普通科を卒業した人達と同じ土俵で勉強がスタートします。入ったコースによっては、高校ではカバーできなかった数学や理科の知識も必要になってきます。自分に何が不足しているかを見極め、計画を立て、4月までの2ヶ月間を有効に活用してください。教科担当の先生に、勉強方法についてアドバイスをお願いするのもいいでしょう。

家庭学習期間は“お休み期間”ではありません。新生活に向けての準備期間であると認識し、自分を律することに努めてください。

◆ 就職する人は、最後の近況報告を出そう

就職する人は内定している企業に近況報告の手紙を書きましょう。企業の方々は、あなたたちの入社を心待ちにしながら、早く仕事に慣れ、一人前の職業人になれるよう、準備を整えてくれているところです。残り少なくなった高校生活のこと、入社してからの抱負などを書いて送りましょう。詳細は

右記の見本、または進路のしおりのp.41に記載されている内容を参考にしてください。

2月に入ると、みなさん方が学校に来るのは登校日など限られた日のみになり、もし企業から学校宛に連絡があったとしても、情報のやり取りが難しくなります。そのため、最後の近況報告では自分の連絡先を伝え、今後は自分で直接、内定企業と手続き等を進めるようにしてください。

ただし、卒業までは企業から要請のある提出文書などについて、学校も情報を把握しておく必要があります。2月28日までに届いたものについては、登校日や卒業式の日、進路指導部まで見せに来ることを忘れないでください。

書き方見本

① 頭語、時候のあいさつ

② 入社準備の状況を書く
(自動車免許取得状況や卒業式の日程など)

③ 入社後の抱負などを書く

④ 入社・入寮についての質問があれば書く

⑤ 家庭学習期間の連絡先を知らせる

なお、二月は家庭学習期間となり、学校には登校日(十八日、二十七、二十八日)以外には登校いたしません。

つきましては、家庭学習期間中の入社に関する連絡は、左記へお願いいたします。

電話番号
○○○○・○○・○○○○

郵送の場合
〒○○○・○○○○
○○県○○市○○町○○・○○

⑥ 結びのあいさつ 結語

⑦ 令和七年〇月〇日

会社名
担当者名 様

三重県立宇治山田商業高等学校
自分の名前

